

地域の高校をどんな理由でつぶすのか

信楽などは地域と結びついている

委員 甲賀にある学校の1学年の学級数はどれだけか。

高教組 甲西が7学級、水口6学級、水口東6学級、石部4学級、甲南3学級に高等養護学校が併設、信楽3学級だ。

委員 甲賀市には、5学級どころか3学級の学校が信楽と甲南の2校ある。セラミックやデザインの信楽などは特色があるし、地域とも結びついている。どんな理由でなくすというのか。全県のこともあるが、この地域の将来がどうなるのか、私たちの一番の思いだ。

高教組 同感だ。私たちもあり方検討委員会の中でそういう意見を言った。そういう声を受けて、検討委員会の報告にも、信楽と日野の例をあげて、地域性と学校の事情を配慮すべきだとしている。いまの皆さんの思いは、地域を大事にする滋賀県の大事な正論です。

地域をきりすてて滋賀県が成り立つのか、甲賀の皆さんが論陣を張って県に意見を言っていくことは大きな力になると思う。すでに湖東などでそういう動きが出ている。



滋賀はいまでも大規模校が多い

委員 他府県ではもう統廃合が進んでいるのではないか。

高教組 確かに他府県では統廃合がすすんでいる。しかし、統廃合の進んだ他府県に比べても滋賀県は学校規模が大きい。滋賀は1学年5.9学級、全国平均は5.5学級だ。滋賀はもう統廃合が終わった状態と考えていい。一学年7学級にすると、大阪と肩を並べてトップになる。長野などは2学級になってから統廃合が検討される。

クラブ活動はうまくいくか

委員 3学級や4学級でクラブ活動がうまくいくのか。

高教組 確かに、一般のクラブ活動だけに着目すると活発ではなくなる。地域の人口密度や地理的条件を無視するなら、一般論としては5~6学級がいいと考えている。しかし、地域から学校をなくすことのデメリットを総合的に考えるべきだと思う。また、信楽などは窯業に関するクラブもあり、それは他にない特別な意味もある。

3月9日の県議会で、議員の質問を受けた嘉田知事は4年前の自らのマニフェスト「県立高校の統廃合はしません」を読みあげた。そして、「現時点でマニフェストを変える変えないは言っていない」と答えた。知事選挙を前にして逃げたとも言えるが、少し引いたとも言える。準備は進めており、甘い見通しを持ってはいないが、県下の地域の声盛り上がりれば、計画を断念させたり変更させたりすることはできると思う。まだ、ほとんどの県民が知らない。

高校統廃合はストップせよ

速報 第5号 2010/06/19 発行：滋賀高教組

(増し刷りして教職員に配布し、また掲示板に貼るなどして下さい)